

練馬区立南町小学校



南町小だより

平成26年11月28日

つよく かしく あたたかく

校長 福田 俊彦

意識の高まりが行動を変える

校長 福田 俊彦

平成26年の師走を迎えました。学校周りの歩道や校庭に見られる落ち葉も、日に日に多くなっています。出勤時に、落ち葉掃きをしてくださる近隣の方々とお会いすることがあります。とてもありがたいことです。

さて、学校では、養護教諭を中心として、感染症の予防となる「うがい」「手洗い」の励行を進めています。また、子供たちの健康に関する意識を高めるために、「早起き」「早寝」「朝ご飯」の効果について指導を繰り返しています。健康への意識の高まりは、行動を変えていきます。

毎月行っている避難訓練にも成果を見ることができます。「地震」や「火事」を想定した災害に対する子供たちの避難行動の質が高まっていることです。過日、地震が起こったときも、教室にいた子供たちは、素早く机の下に身を避難させたという報告がありました。南町小学校の子供たちは、どうしてそのような行動をとらなければならないか、理解できているからです。校長として、子供たちには同じ内容について繰り返し話してきました。「自分の命は自分で守る。そのためには、避難訓練に本気で取り組むこと。それは、自分の命を守り、友達の命を守ることにともつながる。」という話です。健康、安全への意識を高めることは、話を聞いている時、訓練の時だけでなく、日常生活全般での行動を変えていきます。

子供たちが生活するこれからの社会は、これまでに経験をしたことがない社会になると言われています。そのような中で、健康、安全を確保する力や態度は、今後更に強く求められていきます。危険を察知する場面、危険を予測し回避する場面は、日常生活の中に大なり小なりあります。以前、このような場面を見ることがありました。自動車が歩行者の横に近づいていました。自動車が走ることにより発せられる音は聞こえています。その時、歩行者は後方を確認せず反対側に渡ろうとしました。自動車が徐行をしながら近づいて来ていました。それでも歩行者は自動車に気づかなかったのです。その歩行者は、イヤホンをつけていました。音楽を楽しんでいたのでしょう。

年末年始は、いろいろと世間がせわしくなってきます。子供を取り巻く環境も日常とは変わってきます。学校では、全ての子供が、自らの健康、安全への意識を高め生活できるよう引き続き指導を積み重ねていきます。この師走を迎える機会に、ご家庭でも、健康と安全について話題としていただければ幸いです。